

コメバツガザクラ

Arctericia nana (Maxim.) Makino
ツツジ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

既知の生育地点は3箇所である。前回の調査では取り上げられなかったが、県内での生育地が亜高山に限られているため、県域絶滅危惧Ⅰ類とした。

種の特徴

高山の砂礫地に生える常緑の小低木。茎は地をはい、上部は直立して高さ5～15cmになる。葉は3枚輪生し、革質で楕円形、先端には腺点がある。7月頃、白色の花をつける。ふつうは枝の先に花序を出して3個の花をつける。

分 布

北海道～本州（中部以北）に分布。県内では、勝山市、大野市で確認されている。

生育を脅かす要因

生育地である亜高山の植生の変化。温暖化による生育地の減少。登山道整備での注意が必要である。

参考文献 佐竹義輔ほか（1981）、福井県樹木誌（2011）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
															○	○	

マルバノイチャクソウ

Pyrola nephrophylla (Andres) Andres
ツツジ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

既知の生育地点は2箇所である。前回の調査では取り上げられなかったが、県内での生育地が亜高山に限られているため、県域絶滅危惧Ⅰ類とした。

種の特徴

深山の林下に生える多年草。葉は長さ2～5cmの柄があり、扁円形で、長さより幅が広く、基部は心形。7月頃、高さ15～20cmの花茎を伸ばし、5～10個の花をつける。花は白色で、やや赤みを帯び萼片は三角状卵形で先はとがる。

分 布

北海道～九州に分布する。県内では、大野市で確認されている。

生育を脅かす要因

生育地である亜高山の植生の変化。温暖化による生育地の減少。登山道整備での注意が必要である。

参考文献 佐竹義輔ほか（1981）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	

クロマメノキ

Vaccinium uliginosum L. var. *japonicum* T.Yamaz.
ツツジ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

既知の生育地点は1箇所である。前回の調査では取り上げられなかったが、県内での生育地が亜高山に限られているため、県域絶滅危惧Ⅰ類とした。

種の特徴

岩礫地や湿地に群落を作る落葉低木。高さ30～80cm。葉はやや厚く、裏面の脈は隆起して網目模様が目立ち、鋸歯はない。6～7月頃、新枝の上部の葉腋ごとに1花をつける。果実は球形で直径8～10mm、黒紫色に熟し、表面に白粉がある。

分 布

北海道、本州（中部以北）に分布。県内では、大野市で確認されている。

生育を脅かす要因

生育地である亜高山の植生の変化。温暖化による生育地の減少。登山道整備での注意が必要である。

参考文献 佐竹義輔（1989b）、福井県樹木誌（2011）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	